

## 見附市教育センターだより



〒954-0052

見附市学校町2-7-9

電話/Fax 0258-62-2343

E-mail [mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp](mailto:mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp)

令和5年12月18日 NO.9

坂井地内 白鳥の餌場です

## 「教師児須讀五車書？」

見附市小学校校長会 会長 後藤 正美

下町ロケットのロケ地ですっかり有名になった燕市（旧吉田町）粟生津地区には『長善館』という江戸時代に創設された私塾があります。長善館には『男児須讀五車書』という教えがあったそうです。この意味は「男子たるもの須く（すべからく）荷車5台分の書物を読め」との内容です。もし、「男子」の部分「教師」と置きかえた場合、何だか実に耳の痛い話に聞こえてきます。先生方は、デジタル書籍ではなく実際の「書物」を手にする機会はありますか？



まだ若手の頃に、橋本定男先生から「どんなにセンスや才能があっても、本を読まなければ光らない。本の差が教師の力の差をつくる」とご指導を受け、『教師が本で力を付けるための5カ条』を教わりました。以下が、その5カ条です。

- ① 本の題名にいつも流し目を送る。
- ② 「情報のための読書」と「考えるための読書」とを分ける。
- ③ 本の前に自分を追い込む。
- ④ いい文章を抜き出す。
- ⑤ これはという本については身銭をきる。

教師たる者、自己投資を惜しんではいけないし、自らを追い込んでも本を読むべし……なのでしょう。以下は、ある先輩から言われた言葉です。

「校長になると、叱ってくれる人が減り、独りよがりになることがある。そんな校長を叱ってくれるのが本である。」

さらに、「学校の文化度は校長の文化度を超えることはない」と、言われたこともありました。自戒も込め、学校に勤務する私たちは、素敵な読書タイムを通して自身を磨き続けることが大切だと痛感します。

52年間続いた新潟県課題図書読書感想文コンクールも、今年度で終了となりました。毎年、小学生向けの課題図書10冊が選定されていましたが、これも終わりとなります。大量のネット情報を目で追うだけでは、「行間を読む」という言葉も、やがて死語になりかねません。教師自身が、意識して本を手にすることが一層必要な時代です。

さあ、これを読んだ皆さんは、年末年始に読書がしたくなりましたね？

## 巻頭写真に寄せて =今冬も白鳥は見附にやってきました=

◇二学期も師がく訪問で、先生方と子どもたちとの真剣な学びを参観し、その後、授業者とさらなる高みを目指す授業づくりの勉強会を行った。確かな実態把握での指導計画や指導案作成が、充実した授業を生み出すことを確認したが、指導は名ばかりで、授業者に学ばせてもらう方が多かった。5年国語「大造じいさんとがん」の終末で「『大造じいさんVS残雪』勝ったのは、どっち？」を考える授業を参観した。読解力、表現力の付いた子どもたちの発表は、素晴らしものだった。この授業を参観した翌朝、坂井地内の田んぼで白鳥を見つけた。冬の使者の白鳥を、いつもの田んぼで見つけ「大造じいさんとがん」の冒頭部が浮かび、表題に使わせてもらった。



◇さて、白鳥の渡来地は瓢湖や福島潟、佐潟等が有名であるが、県内全域にやってくる。近くは「白鳥の郷公園」(五十嵐川；三条市下田地内)で見ることができる。

さて、佐潟には一万羽程や瓢湖・福島潟は五千から六千羽が飛来するが、どこへ白鳥を見に行っても、カモばかりで白鳥はそんなに多くない。昼間、白鳥は近くの田んぼへ餌を食べに出かけている。巻頭写真は穏やかな天気の日 12月8日の午後、坂井地内の田んぼで撮影したものである。この日は35羽いたが、1/3程は毛が黒っぽい幼鳥であった。これからは田んぼに雪が積もり、その中を優雅に過ごす白鳥が見られる。皆さん、年末年始に見に行かれていますか？



家族で過ごす白鳥

## コラム =年末の楽しみは何ですか？ 私は紅白歌合戦の伊藤蘭です=

◇11月後半、あちこちにイルミネーションが飾られ出し、年末が感じられてきた。そんなある日、英語教師であった同僚が、中学生に「きよしこの夜」を英語バージョンで学ばないかと話したら、中学生から「ジングルベル」は知っているが、「きよしこの夜」は知らないと言われたと、ちょっぴり残念そうに教えてくれた。

◇この話を聞いて、私の頭に浮かんだテレビ番組がある。半世紀近く前のバラエティー番組、ドリフターズの「8時だヨ！全員集合」である。リーダーのいかりや長介扮する牧師が指揮者、加藤茶等、他のメンバーとゲスト出演者が少年少女合唱隊(聖歌隊)として歌うもので、この時期に「きよしこの夜」は必ず歌われた。そしてお笑い番組ゆえ、最後まで歌われることはなく、誰かがくしゃみやギャグを言い、全員がズッコケて終わるのであるが、子どもたちばかりでなく、大人も十分楽しめた。このズッコケの一言を発するのが、大変上手かったのがキャンディーズの伊藤蘭であった。数々のヒット曲を出していた全盛期に「私たち、普通の女の子に戻ります」の名言とともに、僅か数年の活動で引退したキャンディーズ。私には、ヒット曲の「年下の男の子」「春一番」等より、聖歌隊で歌う姿や伊藤蘭のギャグが思い出深い。同僚の「きよしこの夜」の話から、「8時だヨ！全員集合」の聖歌隊、伊藤蘭の度胸あるギャグへと、私の頭は「連想ゲーム」のようかけ巡ったのだが、当時から私は、伊藤蘭に役者の才能があると感じていた。さて現在、NHKの連続テレビ小説は、歌手の笠置シズ子モデルの『ブギウギ』が放映され話題になっている。ヒロインを務めているのが趣里で、歌に踊りに、度胸ある演技が好評であるが、趣里は、水谷豊と伊藤蘭の娘である。趣里の役者としての力量を、水谷豊に似ていると言う人がいるが、私は公開生番組で、度胸あるギャグを決めていた伊藤蘭に、より似ていると思っている。



駅前イルミネーション

◇皆さんが、年末年始に楽しみにしていることは何ですか。その楽しみを、ぜひ実現をされ、一年の疲れを癒して欲しいです。今年の大晦日の『紅白歌合戦』に、伊藤蘭が出る。きっと趣里もゲスト出演をするに違いない。私は、それが一番の楽しみである。(こ)



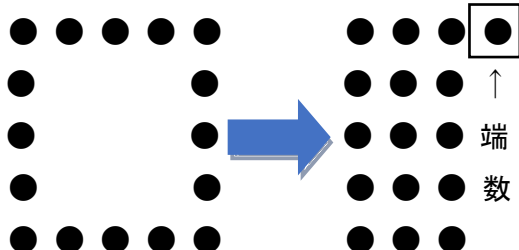
## 4時から夢塾

## 「基石の達人になろう」

第12回は、11月17日(金)に、新潟大学附属長岡中学校の白井康智先生から、南中学校1年1組；数学「文字式」の示範授業とミニ講座で授業改善(興味関心を持つ教材で真剣に学ぶ)の指導を頂いた。

### 1 授業「基石の達人」の様子

◇正方形に並べた基石を1辺だけ残し、残りを崩す。その1辺に沿って並べた時にできる端数から、使われた基石の全体の個数を当てる。



Tより説明する。例えば、1辺の基石の数が5個の正方形の場合、左のように基石を並べ替えると、端数は1となる。

課題 どうすれば端数から総数が求められるだろうか？

#### (1) 個人で課題に取り組む

- ・ワークシートを配付し、まず個人で方法を考える

#### (2) グループで見つけた方法を共有する

- ・お互いに式や図を用いながら説明をする

#### (3) 総数の求め方を全体で共有する

- ・式の共通点を見出し、図との関連を探る

#### (4) 得られた式を計算すると「 $4x+12$ 」になること、 $x$ に値を代入すると総数が求められることを確認する

- ・ $4x+12$ の意味を考える →発表する

#### (5) 正三角形に変更すると、どうなりそうかを考える

- ・条件変更による数学化にふれ、本時の振り返る

### 2 ミニ講座 ○授業者・本時は薬師算で、江戸時代の和算書「塵却記」に掲載された問題。

○出席者で・各自の算数・数学授業の進め方や困り事等を発表し合って、学び合いをした。



白井 康智 先生



### <参加者の声>

- ・知的好奇心をくすぐる課題で、生徒が興味を持って取り組めた。進め方も良さを引き出した。
- ・基石を並べた図と全体の操作の確認をただけで、規則性を見つけ出した生徒がいて驚いた。
- ・数学の楽しさ、興味深さがある課題設定・授業内容で、生徒は本気になって取り組んでいた。
- ・考えたい問題を生徒が熱心に考え合い、最終的にシンプルな文字式になり、感動をした。
- ・示範授業は、面識のない生徒との授業であるが、指導の本質を見ることが出来て良かった。
- ・協議会で、他の先生方の1分勝負・ずれを作りたいなどのポイントが聞けて参考になった。
- ・今回のような授業参観と協議会のセットの研修は大変勉強になる。今後もお願いしたい。

## 4時から夢塾 魯迅の「故郷」について学び合う

第13回は、12月7日(木)に、新潟大学附属長岡中学校の伊藤裕先生から、今町中学校の3年2組；国語「故郷」の示範授業とミニ講座で、授業改善（文学を読むときに大切にしてほしいこと）の指導を頂いた。

### 1 授業の様子〈事前に生徒から全文を一回読んできてもらったの本時〉

○文学を読むときに、大切にしてほしいことは「設定を読む」こと

・文学の「設定」って？ → 場所・場面，時間軸，登場人物の3つ

(1) 〈場〉描かれる場所・場面は？ C：中国（魯迅）

T：証拠を探してみよう C：閩土(ルントー)，豆腐屋小町

C：てん足(足が大きくなるよう…)，二千里の果てに… 注に中国  
：旧暦の正月(2月…日本とは一か月ぐらいいずれている)

(2) 〈時〉描かれる時間軸は？ C：故郷の一番のページに出ている…  
歩く人が多ければそれが道になるのだとあるから，昔のこと

T：中国版に1921年1月とあるから102年前。日本の大正時代の話

(3) 〈人〉登場人物は何人？ C：8人，9人，10人以上

T：登場人物は，物語において実際に活躍(行動や会話)する人物

T：何人か，班毎で確認してみよう C：6人

・私(主人公) ・ホンル(宏児) ・ルントー(閩土)

・シュイション(水生) ・ヤン(楊)おばさん ・母

◎この登場人物を，グループ(グループ名をつけて)に分けてみよう

### 2 ミニ講座 定番教材「故郷」を考える

・1921年5月雑誌『新青年』で発表 魯迅本人の経験がもとになっている

・教科書の翻訳文学…「故郷・少年の日の思い出・走れメロス(原作)」

・「故郷」は全教科書に採録 すべてが竹内好の翻訳『魯迅文集』から

・数年前，ある教室で…「故郷」を読んで，好き勝手に発言してみよう

→「何かえらそう」「『希望』とか言いながら，自分は何もしてない」…

○「教師の読み」…教師として，どう読めるかを突き詰めておく必要あり

・得た知識や今までの指導経験をどれだけ対象化して読めるかが重要

・自分の読みは，何が前提となっているか，どんな経験から解釈されているかを把握しておく



伊藤 裕 先生



＜参加者の声＞ ・文学教材の設定の仕方や授業の進め方を示して頂き，大変に参考になった。

・文学教材を導入で作品の設定を捉えることが，その後の言語活動に生かせることがわかった。

・設定で，人物のグループ分けが最後の場面と繋げることができると思い，参考になった。

・個別最適，協働を目指す上でも，設定や枠を定める大切さを生徒の姿から知ることができた。

・フレームを捉える活動をしつかりすることで，言語活動をする土台ができることを学んだ。

・教科書会社で，翻訳が違っているかがわかった。ぜひ翻訳の比較を授業に取り入れてみたい。

# 12月

# 科学教育部



《今月の1枚》

葛巻ふるさとセンターイルミネーション

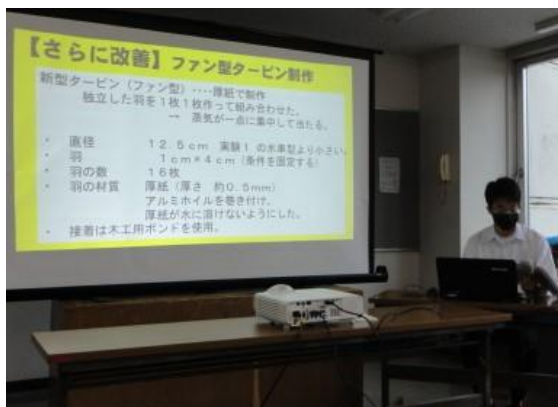
## 第59回新潟県いきいきわくわく科学賞

見附市児童生徒科学研究発表会で7作品が推薦され、「新潟県いきいきわくわく科学賞」に応募しました。次の通りに、入賞しましたので紹介します。(敬称略)

### 東北電力賞

<中学校物理・化学の部>

より効率的な発電方法 Part2	西中学校	2年	太田 皓斗
------------------	------	----	-------



太田さんの発表の様子  
(第59回見附市科学研究発表会より)

### 優秀賞

<中学校物理・化学の部>

スープパスタにおける麺の伸び方の検証	見附中学校	2年	星野 稜太
--------------------	-------	----	-------

<中学校生物・地学の部>

植物の水の吸い方の研究—パート4—	今町中学校	1年	石田 悠真
-------------------	-------	----	-------

### 奨励賞

<小学校中学年の部>

一番、スープがからむ麺ってどんな麺？	上北谷小学校	4年	石川 草太
--------------------	--------	----	-------

<小学校高学年の部>

生分解性プラスチックの実験2 ～透明な生分解性プラスチックを、電子レンジを使わずに作るか～	名木野小学校	6年	山本 衡
--	--------	----	------

<中学校物理・化学の部>

ほこりはなぜ発生するのか	見附中学校	2年	小林 朋生
どの状態の果物が一番ビタミンCを含んでいるか	今町中学校	2年	塩見 綺音

日常生活に存在している科学を調べたり、様々なメディアなどから興味をもったことを調べたりと研究のきっかけはたくさんあります。科学研究で大切なことは、目的をもって、調べたいことや知りたいことを解き明かしていくことです。科学研究の過程では、条件を制御して調べることと、結果を表やグラフなどにまとめ、関係性を調べることが重要です。時には、繰り返し実験をするなど納得いくまで追究することも必要になります。

見附市の科学研究の内容については、これから各校に配布する「わたくしたちの科学研究 第59集 2023」に掲載しています。ぜひご覧いただき、今後の指導に役立てていただければと思います。過去の「わたくしたちの研究」と「いきいきわくわく科学賞」の研究冊子も保管していますので、来年度の研究テーマの設定に、ぜひ活用ください。

# 科学の公園

## 月の表面の模様

日本では、昔から月の表面の模様は、「うさぎの餅つき」と言われています。世界的にみると、次のように表現されています。

- 餅をつくうさぎ(日本と韓国)
- 不老不死の薬草を挽くうさぎ(中国)
- ロバ(南アメリカ)
- ワニ(南アメリカ・北アメリカインディアン・インド)
- ほえるライオン(アラビア)
- 髪の長い女性(東ヨーロッパ・北アメリカ)
- ヒキガエルの頭と前あし(中国)
- 女性が編み物をしている姿(インドネシア)
- 大きな木とその下で休む男の姿(ベトナム)
- 悪行の報いとして幽閉された男の姿(オランダ)



国によって月の表面の模様の見え方は違うようです。見え方は違いますが、いつでもどこから見ても、月の表面の模様は同じように見えます。

## 月の模様の正体

月の模様の正体は、海と呼ばれる地形です。海といっても、月の表面には水がありません。月のマグマが噴き出して固まった鉄分を多く含んだ玄武岩で覆われた地形を「海」と呼んでいます。黒っぽく見えるのはそのためです。

それでは問題です。「なぜ、地球から見て、いつも同じ表面の模様が見えるのでしょうか。」

次のア～エから選んでください。

- ア 月は自転をしていない
- イ 地球の自転周期と月の自転周期が同じ
- ウ 地球の自転周期と月の公転周期が同じ
- エ 月の自転周期と公転周期が同じ

月が1回転するのにかかる時間は約27日(自転周期)です。地球の自転周期は24時間なので、随分とゆっくりと自転していることになります。(地球が太陽のまわりを公転しているため正確には23時間56分)。月が地球を1周するのにかかる時間も約27日(公転周期)なのです。つまり、月は地球を1周する間に1回自転していることになります。正解は「エ」となります。

参考文献 理科の教育 2023年11月号  
国立天文台ホームページ